

令和5年度第1回地方独立行政法人名護市行政事務機構評価委員会
議 事 録

日時:令和6年2月9日(金)13:30~15:30

場所:名護市役所庁議室

出席委員等		欠席委員
委員	嘉手苺 健(委員長) 宮城 弘子(副委員長) 大城 美樹雄 与那国 かおり 比嘉 幹和	なし
事務局	比嘉 史(市民課長) 末吉 業立(市民課窓口係)	

1 次第

- (1) 委嘱状交付
- (2) 議事
 - ① 委員長及び副委員長選出
 - ② 地方独立行政法人名護市行政事務機構及び評価委員会の概要について(説明)
 - ③ 今後のスケジュールについて
 - ④ 年度目標について(説明)

2 議事等要旨

- (1) 委嘱状交付
評価委員に対し、委嘱状の交付を行った。
- (2) 議事
 - ① 委員長及び副委員長選出
委員の互選により、委員長に嘉手苺 健氏、副委員長に宮城 弘子氏を選出した。
 - ② 地方独立行政法人名護市行政事務機構及び評価委員会の概要について(説明)
事務局より地方独立行政法人名護市行政事務機構の概要と、評価委員会の担当事務等の説明を行った。
(委員) この法人は、市の予算削減のために法人職員を安い賃金で働かすようなことはないか。もし、そうだとすれば、このような市の思惑の片棒を担ぐことはできない。
(事務局) 人材確保が非常に困難となっている社会情勢を踏まえると、

安い賃金で人を使えばいいという考え方は、むしろ命取りになってしまう。人材確保のため、法人職員の給料は、市の職員の給料に準じて設定するつもりである。

(委員) 市職員は身分を失うことになるのか。

(事務局) 市の正職員の転籍は予定していない。

(委員) 法人規模(職員数)は何名くらいになるのか。

(事務局) 法人職員は47名の予定である。

(委員) 現在の窓口業務の受託者(株式会社Message)を法人化とするのか。

(事務局) この法人は名護市が設立する法人なので、株式会社Messageという会社そのものを法人化するわけではない。

③ 今後のスケジュールについて

今後の作業工程について説明を行った。

(委員) 評価委員会はスケジュール表の7番、8番の項目について関わっていくことで理解していいか。

(事務局) そのとおりである。

④ 年度目標について(説明)

事務局より泉佐野市の事例をもとに年度目標についての説明を行うとともに、次回の評価委員会に本市の年度目標の素案を提示することを説明した。

(委員) まずは運営方針を定める必要があるのではないか。

(事務局) 運営方針に相当するものが年度目標である。

(委員) 年度目標と単年度評価のみならず、複数年の評価(効果測定ができるような)をしておく方が望ましい。その場合、数値的な部分も必要でないか。

(事務局) 法人の評価は単年度ごとの評価とは別に、一定の区切りの期間(4年)を総括した評価も行うこととなっている。また、数値的な目標については、年度目標を受けて法人が策定する事業計画に数値目標を設定させる予定である。

(委員) 目標を詰め込みすぎて年度単位では実施困難な目標を定めるよりも、中期的な視野で到達点を設定し、到達点に向かって着実に取り組んでいくための年度ごとの目標を示してしっかりやってもらうようにしたらいいのではないか。

(事務局) 今のご意見を踏まえて整理した上で、次の会議で年度目標の素案を示したい。